

平成30年度9月教育委員会 会議録

開催日時	平成30年9月18日(火) 15:30~17:00	
開催場所	町民総合会館 2階 研修室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、森綾子委員、綾野克紀委員、竹井成範委員
	事務局	貝畑和明学校教育課長、黒木克美生涯学習課長、猪木浩二課長補佐、大部桂嗣主事
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件 (1) 早島町総合型地域スポーツクラブ設立準備会設置要綱について (2) 不登校児童生徒について (3) その他</p> <p>3 連絡 10月教育委員会について 日時：10月24日(火) 15:00~17:00 場所：町民総合会館 2階 研修室</p>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	大部 桂嗣	

会議内容

1 開会

教育長あいさつ

教育長：9月の中学校土曜授業日に、2年生で English Day を行い、留学生と英語で交流をしましたが、保護者からは貴重な機会をいただき、こんな授業をこれからもしてほしいと大変好評でした。1月12日(土)の土曜授業日には、中学校にだっぴに来ていただき、中学1年生104名が大学生や地域のおとなと、夢や生き方を語る会を開催します。今、おとなを公募していますので、ぜひ教育委員さんにはお越しいただければと思います。

10月7日には町民運動会が行いますが、現在スラックラインを小中学校に入れて、授業等で活用してもらっていますが、運動会の時にはスラックラインの元世界チャンピオンにパフォーマンスしていただき、練習や指導を受けることもできるようになっています。

また、今年は中学生に運動会のボランティアスタッフとして参画してもらうことになっており、楽しみにしています。11月13日には早島小学校でESD研究発表会を行い、各地から多くの先生方に来ていただければと思っています。お時間が許せば、どうぞ参観いただければと思います。最後になりましたが、森委員さんが9月末で任期を終えますので、最後のご挨拶をあとでいただければと思っています。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2 議事・報告案件

(1) 早島町総合型地域スポーツクラブ設立準備会設置要綱について

黒木生涯学習課長：早島町総合型地域スポーツクラブ設立準備会設置要綱を制定する。早島町総合型地域スポーツクラブを設立するため、早島町総合型地域スポーツクラブ設立協議会を開催する。協議事項は、クラブの基本方針及び実施計画に関すること等を検討する協議会を考えている。協議会の委員は最大15名。構成員は、スポーツ関係機関、団体等の代表者であり、スポーツ推進委員、各種経験者、教育委員会を招集したいと考えている。任期は目標が達成するまでとする。会長及び副会長を選びで議事進行をする。報償費については、謝礼及び交通費相当額を支払う。庶務は生涯学習課が行う。10月1日からの施行を目指す。基本的な種目は、スラックライン、ボルダリング、花ごぎ卓球等を考えている。

教育長：設立協議会の準備委員会を立ち上げ、来年度から試行していきたい。

全委員：了承した。

(2) 不登校児童生徒について

貝畑学校教育課長：7月現在の不登校児童生徒の人数と欠席日数を明記している。平成29年度と比較して、欠席日数が少なくなっている児童生徒もおり、未然防止の充実や学校に行きにくい児童生徒に積極的にかかわっていききたい。

教育長：不登校の定義は、病気等以外で30日以上欠席をしている児童生徒のことであり、昨年度ふれあい教室に通っていた児童が、今年度、中学校の「心の教室」に通っているケースや、小学校時代、学校に行けなかった児童が、現在休まずに中学校に登校できているケースもある。環境が変わることでよい状況が生まれる場合もある。2学期、3学期と増加しないよう、未然防止に努めたい。

綾野委員：中学校3年生の欠席の多い生徒の受験はどうするのか。

教育長：本人の希望により、高校を選択し、通信制や私立・県立などを受験している。昨年度ふれあい教室に通っていた生徒は、現在高校に通学している。

竹井委員：ふれあい教室にいくと欠席扱いにならないのか。

教育長：適応指導教室であるので欠席にはならない。大学生支援員と一緒に勉強し、そこから学校に昼食を食べに行ったり、授業に参加したりと、学校につなげていっている。中学校には、「心の教室」もあり、支援員を配置しているので、行きやすい環境になっている。

卒業や進級については、休んでいても家庭やふれあい教室で取り組んだ学習に評価をつけることができるので、本人や保護者の思いや願いを踏まえ、卒業（進級）認定会議を開き、決定している。高校になれば、各自のニーズに合わせて高校選択をして、自分の行きたい高校に通っており、頑張っていると聴いている。

大森委員：昔と比べても不登校が増えていると思うが、その原因はなんなのか。

教育長：様々な要因が絡み合っており、一概に言えない。人間関係づくりや集団に入ることの困難さで、行きづらくなったり悩んだりするケースもある。小学校では登校支援員を2名配置して、校門前でのあいさつや声かけ、家庭訪問、授業中でのサポートなどを行っており、教育効果を上げている。留意点にあるように、1つ目は適切な登校アプローチをしていくということと、児童生徒の絆づくり・居場所づくりということで日頃からアンケート調査をして、困り感を把握し、児童生徒が互いに認め合える学級づくりに努めている。また、校内の余裕教室を利用して、当該の児童生徒が個別に学習したりできる場づくりを行っている。2つ目は公的な教育支援センター、適応指導教室、ふれあい教室や民間のフリースペースとなるような場所をつくる。3つ目に不登校の背景を捉えた指導を充実させ、それぞれの生徒の抱える問題を把握して対応する。各学校にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置する。4つ目にケース会議。不登校の原因はそれぞれ異なり、複雑長期化する傾向がある。支援チームを作って定期的な検討をして、チームで取り組む。教育委員会でも学校に行きづらい児童生徒の保護者会を定期的に行っている。そこで出たお願いや配慮事項などを学校に伝え適切な指導に活かしていく。長期休業後が大切で、夏季休業中や始業式前には、電話面談や家庭訪問などをしてサポートするなど、児童生徒の不安の解消や励ましなどを行う。心理的悩みをもつ児童生徒については共通理解を図り、教員全員で一体となって、声かけや見守りを行っていく。欠席が3日続くことへの対応を徹底し、不登校児童生徒を学級担任だけで抱え込まず、学校の不登校として、教育委員会と学校とで連携してかかわっていききたい。

大森委員：昔とちがうのは、家に祖父母がいない家庭が増えた。家庭や地域環境が変わったことによるものが原因なのか。

教育長：それぞれ要因は異なり複雑化しているので、一概には言えない。祖父母がいても不登校になる場合もあるし、家庭環境が変わっても元気に登校できる子どももいる。性格等もあるが、状況を適切に把握しながら、保護者と話し合っよりよい方向に進めていきたい。

綾野委員：中学校の不登校の生徒は、小学校の頃から学校に行きづらくなっていたのか。

教育長：そういう場合もあるし、中学校に入ってから行きにくくなった場合もある。

綾野委員：データだけを見ると、増えることはあっても減ることは少ない。一度休むと登校しづらくはなる。学校に行くことに対して無理しなくてよいのではないか。小6より上の学年が多い。不登校の定義は30日以上休むことだが、長期欠席との違いはなにか。

教育長：長期欠席は病気の場合である。

大森委員：近隣との比較はないのか。

教育長：県平均との関係では、不登校の出現率が高い。

綾野委員：休むきっかけの日は、土日等の休みの翌日が多いのか。

教育長：週明けの月曜日は多くなるし、連休明けや長期休業明けも多くなる傾向がある。

綾野委員：連休中にゲーム等で夜更かししたため、連休明けに元気がない子もいる。

竹井委員：ゲームをやめさせるのは難しい。30分や1時間と目安を決める。

教育長：家庭でのルールづくりや、決めた約束を守らせることは大切なことだ。小さい頃からの家庭での生活習慣や学習習慣をつけていくことは大切なことだ。

綾野委員：従来型ではなく、ネット依存型の不登校の数など調べられたら、新しい対応ができるかも。

教育長：ネット依存は全国的にも大きな問題である。ネット上は社会であり、便利な道具を正しく使いこなせるように、いじめや嫌がらせの道具にならないように、家庭で時間を決めて、自己コントロールできる力をつけていきたい。

(3) その他

・学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について

貝畑学校教育課長：個別に指導計画をつくり適切な指導をしていくよう、省令を改正している。

・第1回早島IGUSA花ごぎピンポン世界大会

教育長：11月23日に中学校体育館で花ごぎピンポン世界大会がある。22日に中学校で中学2年生が地域との交流会をする。当日は、子どもや初心者のための卓球教室、はやしまカフェで中高生の創作したスイーツや、留学生の作る揚げ餃子などいろいろなものを出すようにしている。ダブルスのリーグ戦で、勝ち残れば決勝トーナメントに出場できる。誰でも参加可能。実行委員は21名、岡山南高校、倉敷高校の生徒、環太平洋大学の留学生、早島中学校の生徒、地域の大人であり、企画・運営を頑張っている。中学生がよいアイデアを出してくれるので、楽しみだ。

大森委員：卓球のリーグを作る動きがあるが。

教育長：残念ながら日程が合わず、Tリーグのプロは呼べなかった。試合があるようで、残念がられていました。

綾野委員：ラケットは参加者が用意するのか。

教育長：事務局で用意する。

・はやしまプレーパーク [9/29 (土)、10/20 (土)]

教育長：吉備国際大学の大学生が就学前の子どもや保護者と触れ合う。前回も多くの参加者がいたので、今回も楽しみにしている。よく遊んでいる子どもの様子を見ていると、た

のもしく感じる。

・路交通法の一部改正による自転車の新しい通行ルール

教育長：13歳未満の子どもの場合、自転車が特定の場合に歩道を走れることやヘルメット着用義務についての改正があった。

綾野委員：早島は歩道が少なく細い道が多い。

森委員：小学生が遊びに行くときに自転車に乗ってもいい範囲に制限はあるのか。地区外まで行くのはだめなのか。

教育長：そこまでは定めていない。小学生も休日に自転車に乗るときはヘルメットをかぶっており、家庭での協力を感謝している。

3 連絡

教育長：森委員さんには教育委員として、大変お世話になり、感謝しているところです。それではご挨拶をお願いします。

森委員：お時間いただきます。ちょうど4年と半年になります。前任者の半年を引き継いでさせていただきました。何の役に立てたかいろいろ考えてはいますが、何にもしていませんと反省しております。最近、年齢と共に心身も厳しくなったので、これを機に退かせていただこうと思います。お世話になりました。ありがとうございました。今後とも見守り隊や土曜はやしま塾などいろいろな面で子どもたちには関わらせていただこうと思います。今後ともよろしくをお願いします。

教育長：大変お世話になりました。今後とも何かお気づきのことがあればいつでもご連絡をください。何とぞよろしく願いいたします。

・10月教育委員会について

日時：10月24日（火）15：00～17：00

場所：町民総合会館 2階 研修室